

9月末の人口
世帯数 550世帯
男 675人
女 669人
計 1,344人
(馬路 1,004人)
(魚梁瀬 340人)

広報 うまじ

平成4年9月30日発行
第一四七号
編集 馬路村教育委員会
印刷 安芸タイプ



橋本知事、おしどり走る!!

9月20日(日)第13回馬路おしどりマラソン大会が開催されました。

橋本知事御夫妻が、3kmに出場され見事完走!

くわしくは次号、スポーツ特集で……。

今月のスポット

《8月》

- 2日 中芸地区消防大会（馬路）
- 2～7日 全国スポーツ少年大会（室戸）
- 3～6日 関西大学児童文化実践サークル
「うぶ」合宿（小学校、就改センター）
- 9日 中芸地区夏季体育大会
親子スケッチ教室（魚梁瀬）
- 10日 親子スケッチ教室（馬路）
- 10～29日 親子体そう教室
（就改センター、体育館）
- 15日 温泉まつり
- 18日 木工教室
- 21日 安芸の教育を考える会
- 22～23日 サバイバルキャンプ
杣人選手権大会（奈良県）
- 24日 親子読書
- 27日 中学校森林教室（魚梁瀬）

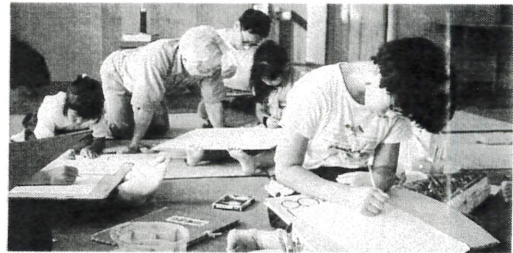
《9月》

- 2日 PTA廃品回収（馬路）
- 4日 村内水泳交換会（馬路中プール）
- 8日 敬老会（馬路）
- 10日 “（魚梁瀬）
中芸地区小学校水泳大会（中山小）
- 13日 第2回おらが村心臓やぶり
フルマラソン大会
- 20日 第13回おしどりマラソン大会
- 24日 議会定例会開会
- 27日 魚梁瀬保・小・中運動会

フォト・フォーカス



8月3日～6日 「うぶ」合宿



8月9日 親子スケッチ教室



8月15日 温泉まつり



8月18日 木工教室



8月27日 森林教室

村内あちらこちら

夏の子ども



ぼくも私も名コック!!

七月三十日、親子料理教室が開催されました。今回は男の子三名、女の子七名のコックさんが集合しました。

メニューは若布ごはん、かぼちゃのコロッケ、お花畑サラダ、二色ゼリーです。

栄養士さんのお話を聞いてエプロンかけて、三角きんをきりりとしめて、さあ戦闘開始!!

キュウリを切る子、レタスをちぎる子、玉ネギを切っていて泣いている子、みていてあぶなかくして、つつい手や口を

出したくなるのをがまんのお母さん。後もう少しです。若布ごはんはラップで好きな形のおむすびに、コロッケとサラダをかつこよく盛り合わせ、さあ出来上がりです。

「いただきます。」
「おいしいね。」
「ほんと!」

「また作りたいね。」
悪戦苦闘して作ったお料理もワイワイ、ガヤガヤみんなのおなかの中におさまってしまいました。

...おしまい。



上手に盛りつけてきたかな?

忍者をめざして

ワン・ツー・スリー



初めのころは、こわごわ運動していた子供たちも、終わりに近づくにしたがって、講師の先生もびっくりするぐらいの動きができるようになりました。

忍者のように軽やかな動きができるように頑張った子供たちに拍手を送りたいと思います。

来年も来てね!

八月十日から五日間、保育園から小学校三年生までを対象に、親子体操教室が開かれました。
最初の二日間は就業改善センターのホールで、親子リズムを中心に、そして残りの三日間は体育館で、マット運動トランポリンなど、子供たちの活動を主に行われました。

親子水泳教室に参加して

内原 小百合

初めての親子水泳教室、親も子も不安と期待に胸ふくらませながらの参加でした。

初日、二人のインストラクターの先生達のおまりのすざさに圧倒されながらも見様見まねで、子供達と一緒に泳いだ二時間、息つき、けのび、バタ足の仕方等、次から次へと休みなしの二時間、時間のたつのも忘れ、気がつくと予定の時間をオーバーする程の熱心さでした。

二日目は先生がいなかったため自分達と子供達だけでしたが少しづつ皆も要領がつかめてきたのか、上手にできるようになっていました。

そして最終日、バタ足に手をつけて、本格的に泳ぐ練習です。子供達にとっては大変な事だったのでしよう。足をすれば手を忘れ、手をすれば足が止まってしずんでしまう子供達や、上手に泳ぐ子供、色々でした。手と足を同時に水の中で動かすなんてことはきつと至難の業だったのでしよう。誠は上手に出来ず、プールの水の中ですいませんでした。でも皆

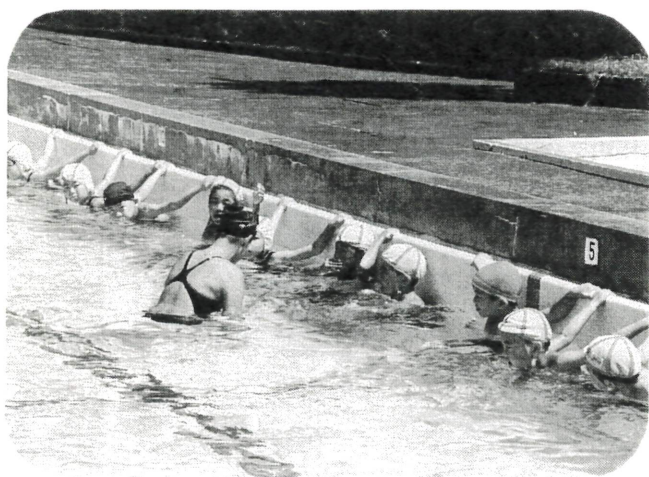
が一生懸命やうっているのをみていると、何だかいじらしく思えたのは、私の親バカかもしれないません。

あつという間の三日間でしたが、子供達にとつても、親にとつても、とてもいい経験になったと思います。

その成果があつて、九月の水泳大会には一年生の何人か

は、二十五メートルも泳げるようになっていました。ちょっとした事がきっかけになつて、自信がついて、やってみようという気になる。その気持ちが大変だと思えます。

来年も二人の先生はおいでで下さるようですが、来年もその次の年もずっとこのような水泳教室を続けてもらいたいと思います。参加して本当にそう思いました。来年も是非参加したいと思つています。先生方、関係者の皆様本当にありがとうございます。御苦労様でした。



水の中でも、しっかり目をあけて!!



親子図画教室



先生のお話をよく聞いて!

夏休みの親子事業として行なっている親子図画教室を講師二名を招いて八月九日(日)と十日(月)両日に行ないました。十日は馬路地区小学生を対象に子供二八名父兄六名の参加、九日は魚梁瀬地区を対象に行い子供七名父兄一名の参加でした。今年、低学年の部(一〜三年)と高学年の部(四〜六年)にそれぞれ分かれて、下書きの構図のとり方、配色のしかた等のお話を聞いて、各人が思い思いの場所でスケッチして、先生の指導をうけました。一日の日程で最後まで仕上がらない子供もいましたが、九月の敬老参観日には、作品を展示して発表しました。

雨にも負けず サバイバル

八月二十二日、朝からの晴
 天が嘘のようにあゝ雨が降る。
 『だれか雨男がおるんじゃないか！』

そういう声の聞こえる中、雨
 の中を安田川源流をめざし
 て、サバイバルキャンプは始
 まったのでした。自転車に乗
 って、坂道をうんとこやっ

と目的地に着いた時、出迎え
 てくれたのは二匹のママシで
 した。

みんなの顔が一瞬曇りまし
 たが、そこはサバイバルの目
 的を思い出し、気を引き締め



目的地に降り立ちました。
 子供たちは、このアクシデン
 トにもめげず、テントの設営
 のあと元気に泳ぎ、青年団の
 おにいさん、おねえちゃん

(おんちゃん、おばちゃんか
 な?) 達の作ってくれたカ
 レーをおいしそうに何杯もお
 かわりしたのでした。

予定していた内容が、雨の
 ため一部縮小されましたが、
 みんな楽しそうに一日を過ご
 しました。



楽しい夕食デス!

青年団の皆さん本当にお疲
 れさまでした。また来年も子
 供達と一緒にキャンプをやり
 ましょう。

(あとがき)

子供を心配して何人かの保
 護者の方が、上の道まで見に
 来てくれました。ありがとうございました。

「うぶ」

「うぶ」とはいったい
 何なのでしょう?

「うぶ」は関西大学児童文
 化実践サークルの名称で、い
 つもは大阪市吹田市内の小学
 校を訪問して、人形劇や紙し
 ばい等を通して、子供達と楽
 しく交流しています。

今回は馬路小学校の調理室
 で自炊して合宿し、馬路の子
 供達と楽しく交流しました。
 感想を聞いてみると、馬路の
 子供達はのりがよくて、すぐ
 とけこんでくれてとてもやり
 やすかったということです。
 それもそのはず、就業改善セ
 ンターのホールは三日間、ズ
 リズリ、ドンドン、ワーワー
 キャーキャー、子供達の歓声
 で満ちあふれていました。い
 ったいなにをしゅうろうとの
 ぞいてみると、歌、人形劇、
 紙しばい、ゲームとても盛

りだくさんのプログラムで
 す。

「今回は一回生から三回生ま
 での三十八名がおじゃまして
 いますが、みんなが教師を目
 指しているわけではありませ
 ん。子供が好きなだけです。」
 という言葉のとおり、最終日
 は涙、涙でなかなか「さよな
 ら」ができません。子供達の
 心をしっかりとつかんだ若者の
 気持ちのよい涙をみせてもら
 いました。

大学生との交流の機会の少
 ない子供達にとって、とても
 いい思い出ができたようです。



ポーズきまった!!

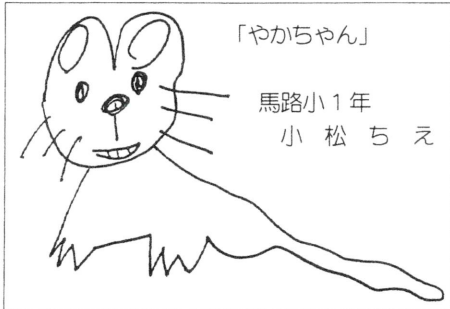
やまびこ親子読書会

第2回 ストーリーテリング
第3回 紙 し ば い

七月三十日(木)第二回やまびこ親子読書会は、講師に岡宗幸子さんをお呼びして、一本のろうそくの光の中で、ストーリーテリングを行いました。
参加してくれた子供達が、書いた感想文や絵を紹介しなす。

馬路小学校二年
大野 加織

とってもおもしろかった。とくによかちゃんねずみのこえの大きいのにびっくりしました。おはなしをきいているとき、やかちゃんのこえが、きこえるとおもったら、ドキドキしました。さいごにどうぼうをおっぱらってほんとうによかったです。また、おはなしをききにきたいです。

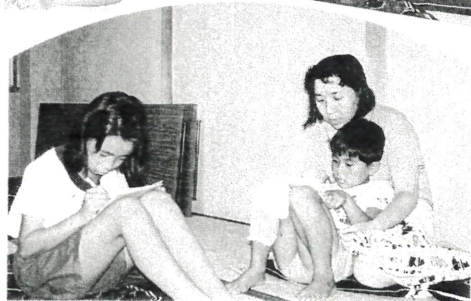


井上じん君の絵とお母さん典子さんの感想を紹介します。ばんねずみやかちゃんがとっても楽しかったようです。一つめの「ちようちよ」は、小学校でも高学年向きです。少しむずかしかったようです。

やかちゃんの方は、声の調子やめりはりがあって、聞いていて、その情景が目に浮かんできて、本当に楽しく聞きました。

子どもにとって興味のあるお話は、集中してじっと聞けますね。又、参加したいと思います。どうもありがとうございます。

など、その他たくさん感想文・かわいいねずみの絵などを書いていただき、ストーリーテリングは好評に終わりました。



八月二十四日(月) 第三回

やまびこ親子読書会は、小谷由見先生・川内康代ちゃん・山中樹ちゃんが紙しばいを読んでくれました。

紙しばいを読んでくれた康代ちゃんと樹ちゃんの感想文を紹介します。

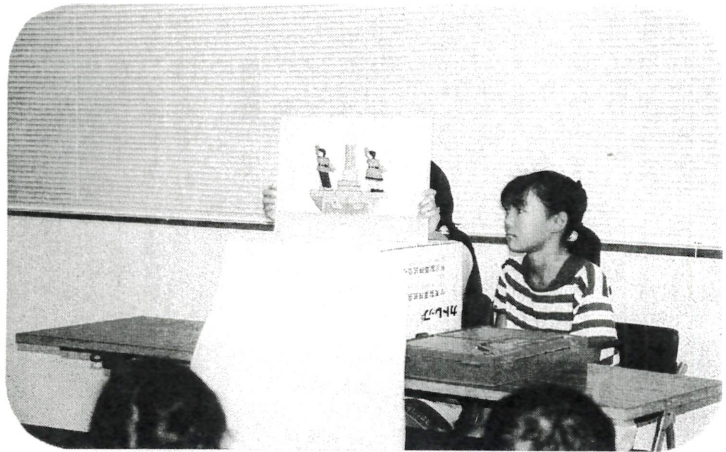
馬路小学校五年

川内 康代

わたしは、みんなの前で、紙しばいをするのは初めてです。わたしは、初めの方から、むねがドキドキして、まちがえたらどうしようと思っていました。わたしは、いつきちゃんと練習している時もちょうさんまちがえました。

本番になりました。そして、安岡先生が、「川内康代ちゃんと、山中いつきちゃんも紙しばいを読んでくれました」と言ったので、よけいにむねがドキドキしました。読んでいると、わたしは、たくさんまちがえました。わたしは、とてもはかしくかったです。わたしは、きんちょうして、みんなの様子がわかりませんでした。みんなどんな気持ちで、聞いてくれたのかなと思います。

今度やる時は、もっと練習をしてつまらないようにしたいです。



馬路小学校五年

山中 樹

わたしは、人の前で、紙しばいをするのが、はじめてだったのでドキドキしました。でも、康代ちゃんといっしょだったので、少し安心していました。でも、やっぱり、読む前には、ドキドキしました。康代ちゃんにくらべれば、すごく声が小さかったのでも、なるべく、声を大きく出すようにしました。つまった

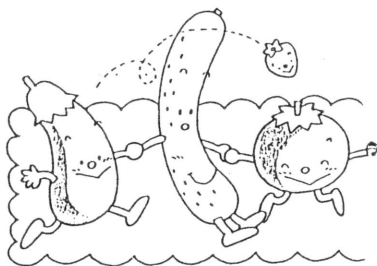


り、言葉をぬかしたりと、たくさんまちがいがありました。まちがえた後、はかしく、顔が赤くなってしまいました。でも、聞いてくれていた人たちが、「あれは、きかん車だよ」とか言ってくれてとてもうれしかったです。また、今度もしたいです。ありがとうございました。

「なんにかわるかな」をはきはきと上手に読んでくれました。



三十八日間の長い夏休みも終り、まっ黒に日焼けした元気な顔で、子ども達は、学校生活にもどりました。
二期からは、ヤッサモツサイだった、学校週五日制もはじまりました。
子ども達が自由な時間を、遊びや自然とのふれあいに使って、ゆとりある生活ができるよう、そしていろいろな体験によって、心豊かに、たくましく育つよう、それぞれの責任を果たしていきたいものです。



島原市立第一小学校訪問の記

昨年六月十八日から十二月二十四日まで、長崎県島原市から仮転入していた稲田恵太君。彼が島原市立第一小学校に帰ってからも、手紙や電話での交流を続けてきた。

折しも新しい教育観の中で平成四年度をスタートさせている小学校である。国際化や情報教育も謳いこまれていいる。こうした情勢もあって、村教育委員会から、村内の小学校でも「交流学习の方向を探ってみては」ということで、稲田君との再会の機会が訪れたわけである。

全校児童の参加が望ましいのだが、まずは、極少人数学級の優位性を生かして、前年度三・四年の学級児童と担任が参加することになり、九州の空へ飛び立った。

一日目は、高知空港から福岡へ、高速バスで大牟田市を経て島原港へとむかう。有明海を南下するにしたがって、雲仙普賢岳の眺望は刻々と変わってくる。空高く上がる噴煙の濃さも増してきた。やがて、どんよりとした空の下に島原市が顔を見せる。宿泊し

た九十九ホテルは、火災流に襲われた頃は避難場所であり、その後長く営業停止になった際の境界地となった所でもある。この夜、恵太君母子がホテルに足を運んでくれ、しばし旧交を暖めた。

翌日は、島原第一小を訪問前年度の四年三組の児童が、夏季休業中にもかかわらず登校して、私達一行を待ちうけていた。担任の荒木良次先生、梅林校長先生の歓迎をうけて、文通をしていたまだ見ぬ友達と顔を会わせる。

島原第一小の友達に会った

山崎 次恵

恵太君の友達に会った。初めに陶山あすちゃんからあいさつがあった。それから、梅林校長先生のお話を聞いた。第一小学校のみんなが校歌を歌ってくれた。私達も恵太君といっしょに、魚梁瀬小学校の校歌を歌った。緊張してあまり大きな声が出なかった。運動場も窓も灰だらけでした。第一小のみんなと、島原名物の豆を食べたりジュースを飲

んだりした。恥かしくてなかなか話ができなかった。最後にみんなで記念撮影をした。私の隣りは、田中敦子さんと野田晶子さんだった。田中さんの家は魚屋さんだそうだった。とても楽しいひと時だった。

この後、荒木先生と恵太君のお母さんのご好意で、島原



市のあちこちを案内していた。船の出港までの四時間余りを、恵太君と心ゆくまで過ごすことができた。

焼山を見て

恵太君の家に寄る

宗石 昌也

まゆ山の向こうにかくれている普賢岳を見たけど、けむりにおおわれて見えなかった。けむりがモコモコ上がっていた。写真をうつした。帰り道、恵太君の家に寄った。おばあちゃんがいた。恵太君のお母さんが、おせんべいや手作りのケーキを出してくれた。玄関の所に、灰を集めて入れたふくろが、何ふくろもあった。「毎日毎日ちよつとずつでも、こんなに積もるんだなあ。」と思った。

昼食後、いよいよ水無川流域へ。交通の便利を考えて今回見学をあきらめていた。しかし、現地に立つことができ、子ども達の印象も百聞は一見にしかず。魔の手は至る所にその痕跡をとどめている。

水無川から

普賢を見る

門脇 裕司

水無川に大きな石や灰がたまって、真っ白になっていた。橋の向こうに見える普賢岳は、けむりがもこもこ上がっていた。「ここで、ひがいがたたくさん出たんだなあ。」と思った。川には水がひときれもなかった。ぼくがここにいたらどうなるかなあと思っただ。水無川のあたりは、すぐくひどかった。

再会の喜びもつかの間。恵太君との時間は、飛ぶように過ぎていった。

○今日は恵太君と別れる日。私達は、恵太君、恵太君のお母さん、荒木良次先生に見送られた。なみだが出そうになった。(山崎次恵)

○いよいよ恵太君とのお別れがきました。ぼくはさびしいけど、ぐつとこらえました。(門脇裕司)

○何回も何回も手をふった。遠くはなれて小さくなってもまだ手をふった。それほどさびしかった。(宗石昌也)



水無川と普賢岳

島原港を出港の時、子どもも私も別れのさびしさをかみしめ声も出なかった。それぞれの胸中で別れの言葉をつぶやきながら、遠ざかる恵太君達の姿を臉に焼きつけた。

この交流会への旅を通して私は教師として学校の内では指導しきれない様々な事柄を発見し、再認識した。子ども達も社会に出た時の行動を通して、自分の姿が見え、自分なりの考えを持てたと思う。

学校行事としては、勇気ある試みの一つであり、村教委としても、斬新的な方策であったと思える。しかしながら、これをきっかけに、村内の小学校においても、幅広い視野での教育が推進されれば幸いである。

協力いただいた方々への感謝の意を記して報告にかえた。

(文責 魚梁瀬小)

松田 千恵

ろばの愛称 決定!!



おすすめ 『ろろん』

馬路小一年 乾 春菜

めす 『花子』

馬路小三年 坂本真希
〃 五年 上治郷平

現在、魚梁瀬丸山公園で飼育している「ろば」の愛称を村内の小中学生に募集したところ、おすの名前六十九点の応募が、めすの名前六十八点、

あり、選考の結果、前記のとおり決定しました。多数の応募ありがとうございます。当選者には、賞品として目覚し時計が渡されました。ろばについては、現在柵の中で放し飼いをしていますので、触れる事ができます。今後は乗馬もさせるように計画していますので、ぜひ、魚梁瀬において下さい。

森林鉄道や温泉、テニスコート、遊具などもありますのでご利用下さい。

魚梁瀬部落長



にんじんが大好きです。
お家にある人は持ってきてね!

馬路俳壇

善心

久々の村のみずうみ萩の花
秋の風別れても師を忘るまじ

雅子

さい果の海猫私に啼きやめず
サハリンへ一八〇Kの雲の峯

千鶴子

明治人筋を通して端居かな
職退いてより病いがち

百合子

古い同志上手下手で草を刈る
秋刀魚買ひ壁の草履も

一美

まちまちに点して峽の
晩夏かな

しぶり燃ゆ畑火や遠き
つくつくし

喜美栄

寺の道手のとどかない花貝木
デトロイト出張の子よ月今宵

うた子

轟の大滝へ二度三度かな
血庄の下りもせず秋来たる

清子

子と門火焚きて夫の魂と居る
こうこうと月さえ渡る湖の色

巖

紫蘇の雨天狗が森を
かくしけり

夏薊塩汲みの径廃れたる

全日本そまびと選手権 大会に参加して

「こんななががあるきに行つてみんなや。」と、役場産業建設課林業係の五藤君からバンフレットを見せられた。それには「爆発」「第7回全日本そまびと選手権大会」参加者募集と大きく印刷されている。

「まこと、俺らも魚梁瀬スギの里で暮らしゆうがやきに、ちったあ意地も見せにゃあ。」

「そうなら、山で仕事をしゆう、現役のオンチャンも連れていこうや。」

と話がトントン拍子に進む。こうして、奈良県も奥深い人口三〇〇〇人余りの川上村に一行9人ははるばるやってきたわけだ。

吉野川上流のこの村にはダムが建設されており、役場や民家なども次々と移転が進んでいる。この会場も山を削った広場にあり、移転後の魚梁瀬を見るおもいだ。午前10時開会の合図と共に参加チームの入場である。九州は熊本、中部地方からは長野・岐阜などから林業地を代表して19チームの参加である。そのなかでも一人、カメラが集中し

ている人が見えた。頭はヘルメット、身体はスゲのみので被い腰には敷皮とキセルに胴乱。足元は巻き脚半である。テレビのアナウンサーが聞いてる。

「魚梁瀬の山崎容臣です。我が馬路村からは「県木魚梁瀬スギ」と「ごっくん馬路村」の2チームが参加している。」

「おい、見てんや。たかあねの木へ登らにゃいかんわえねや。」

「次は木登り競争である。山から伐出したままの杉が立っている。下から6mの位置に横穴がくってあり、これへ第1走者は旗をさし、次の走者が取ってくるのである。ピストルが鳴る。「魚梁瀬スギ」チームは山崎親子でペアを組んでいる。出くんも丸太切りの汚名挽回とばかりにかきつきあがる。表皮がすべってあがりにくい。意外や、小松博くんも苦労している。途中あきらめで棄権失格チームの続くなか健闘するも両チームとも10位の壁を破れない。」





準くん、自信満々で出場……!?

いよいよ最終種目は、2本の4m杉丸太を3人で10mずつ引っぱっていくリレーである。聞けば2本合計重量が150kgあるとのこと。出発合図が鳴り「魚梁瀬スギ」チーム第1走者雅朗さんは5チーム中、3番手で2走者五藤君へ。その頃、「ごっくん」チーム準治君は、「なんな、こりゃあ。これにや自信があったに。ひとつもいごかん(写真注目)」それでも後半追いあげたものの、やはり10位内へ入れない。

結局、予選総合で決勝進出の5チーム内へ入れずに予選敗退でした。思わぬ惨敗に、「こっちのスギは、魚梁瀬のがと性が違う。鋸の目が合わない。」おらもそう思う、おらあ丸太は、杉の皮がさかしになっちゃった。「よし、こんな大会をうちでもやろうじゃないか。魚梁瀬スギの里で。」などなど帰りの道中は、負けおしみやら、新たな決意やら……。

—おわり—
(林業青年クラブ)

吉野杉と澄んだ水、そまびとパワー

第7回 全日本選手権会

そまびと選手権会

92/8月23日 日曜日

AMNDORO

会場：奈良県吉野郡川上村大字西河吉野川対岸広場

主催：川上村そまびと選手権大会実行委員会

平成四年度第42回 高知県芸術祭文芸賞 作品募集について

高知県芸術祭執行委員会では、今回も広く県民から文芸作品を公募して、すぐれた作品を顕彰し、本県文芸の振興をはかっていきたいと存じます。多数の方の応募をお願いいたします。

平成四年度高知県芸術祭

文芸賞作品募集要項

1. 趣旨

高知県芸術祭文芸賞は、広く県民から作品を公募し

て、すぐれた作品を顕彰し、地方文化の発展と本県文芸の振興をはかる。

2. 主催
高知県、高知県教育委員会

3. 主管
高知県芸術祭執行委員会

4. 公募作品の部門

短篇小说 一人一編

詩 一人一編

短歌 一人三首以内

俳句 一人五句以内

川柳 一人五句以内

5. 締切日
平成4年11月2日
(当日消印有効)

6. 作品送付先
(当日消印有効)
〒780 高知市丸の内一丁目七番五二号

7. 発表
高知県教育委員会文化振興課内「高知県芸術祭文芸賞」係あて

8. 選賞
平成4年12月下旬
報道機関の発表および本人あて通知

短篇小说は、「高知県芸術祭文芸賞」*一編

賞状と副賞一〇万円
「高知県芸術祭文芸奨励賞」

*二編
賞状と副賞一万円
他の部門は、「高知県芸術祭文芸賞」*一編

賞状と副賞三万円
「高知県芸術祭文芸奨励賞」

*五編
賞状と副賞五千円

ほかに選外佳作を選ぶこともある。

くわしくは教育委員会までお問い合わせ下さい。



八月二十七日、中学生を対象に森林教室が開催されました。参加者全員が感想文を提出してくれましたので、代表して二名の方の感想文を御紹介します。

馬路中一年
岡林 広育

ぼくがとても心に残ったことは、とても大きい木を倒したところです。

長く曲りくねった道を通って、木がある所へ降りて見えました。なかなか切れないので、

「はよう倒れ。」
と言っていました。倒れる時に、

「ピー、ピー。」
と笛を吹いていたあの笛は、一体何だろう。そして倒される時、

「ゴー、ドサー、バサ、バサバサ。」
などと音をたてて倒れまし

た。なかなかすごい音がしたんでびっくりしました。でも、あんなことはなかなか見れないので、とてもいい経験となりました。

また、それから奥へ行くと、でかい木を小さく切る仕事をしました。大きい木が運ばれて来て、小さく切り、下へ落としていく仕事はしよそうで難しそうでした。ぼくがやってみたかったのが、大きい木を運ぶ仕事です。あれはおもしろそうでした。

最後に、工場を見学しまし



た。厚さが〇・二mmぐらいに、うすく切っていました。ぼくは何に使うのかと思いました。

この教室で学んだことなどがたくさんありました。木が倒れる所など、初めて見るものもありました。ありがとうございました。

馬路中一年

中元 祐弥

魚梁瀬に行き、森林教室を行いました。

周りが、ぼくより大きい木の切るシーンが見れたので良かったと思います。でも木を切るだけでなく、植えることもしたら良いと思います。松と杉の見分け方もわかったので良かったです。それとチェーンソーの改良したのを見せてもらいました。後、製材で木を〇・二mmにするのを見せてもらいました。後で、帰るとトラックに乗ったので気が悪かったのですが、とても勉強になりました。

図書だより

県立巡回図書の本を借りたままの人がいます。

【題名】

あけぼの
マスター

春雷

いま「記憶の証言」

早春物語

現代ヤクザの虚像と実像

夢判断

フリテンくん

あなたの霊力でぐんぐん治る



夜のラビリンズ

過激主婦宣言

FOREST

海へ

夜のない窓

にわとり翔んだ

螢のように

ただ坂道を歩きたくて

風がとまるとき

冬の電車

銀行頭取 上・下

以上の本が返却されています。心あたりのある方は、早急に御返却下さい。

祝

敬

老

会

今年、敬老会の対象となつたのは、馬路一六五人（男六七人、女九八人）魚梁瀬三八人（男一五人、女三三人）の計二〇三人でした。

九月八日に行われた馬路地区敬老会には、九六人の方が出席されました。式典では八八才（一名）八九才以上（九名）最高齢（九八才）の方々に長寿を祝して、またこの一年間に医師の診療を受けな

った健康な方六名の方に無診療記念として、それぞれ記念品が贈られました。

続いて、歯科衛生士の高橋さんによる「歯のはなし」では、最初に軽い体操が行われ会場内はなごやかな雰囲気になりました。そして入れ歯の正しい手入れの仕方などを話していただき、お年寄りも熱心に聞きっていました。

そして恒例となりました演芸の部。今年は岸本民謡クラブのみなさんにも参加していただき、舞台だけでなく、お年寄りの席のまわりをにぎやかに踊ってまわったり、保育園児のかわいい踊りには「おひねり」がとぶなど、たいへん盛り上がりしました。

その後、出席者全員で記念撮影をし、昼食。お年寄りの方々には、年に一度の楽しい一日となったことと思います。

また、九月十日には魚梁瀬地区敬老会が行われ、十八人の方が出席されました。式典では馬路地区敬老会と同様、八八才（一名）八九才以上（一名）最高齢（九二才）の方々と無診療記念として、二名の方に記念品が贈られました。また、毎年魚梁瀬婦人会から贈られる記念品は財布と



馬路地区 敬老会

にも喜ばれているようでした。



魚梁瀬地区 敬老会

「高齢者の健康管理」についての講演が行われました。西尾さん御自身の健康法や、簡

単にできる痴呆症予防法、高血圧などに効果がある家庭薬の製法など、いろいろなことをお話ししていただきました。多くの質問が出され、お年寄りの熱心さが感じられました。

♥ いつも献血ありがとう ♥

30回表彰

田中京子さん
小島忠義さん



これからもよろしくお願いします

村では、赤十字血液センターの移動採血車による献血を一年に二回実施しています。献血はみなさんの全面的な善意と、この事業に対する温かいご理解によって成り立っています。今回は就業改善センター前とニチフ端子高知工場敷地内で実施し、六十二人のご協力を得ることができました。

二さん、笹岡昌二さんも含まれています。
乾 朗さん、川内一宏さん
名木広市さん、乾 準治さん
清岡信一さん、小島忠義さん
清岡 隆さん、岩城和登さん
井上博俊さん、清岡富雄さん
笹岡 俊さん、田中 慧さん
岩田ひとみさんには四〇〇ccの提供をいただきました。
こうして、午前中に採取した血液はすぐに血液センターの車で高知市へ届け、必要としている医療機関で利用されます。
みなさん、ご協力ありがとうございます



にっこり笑顔の田中さん

うございました。
北村 京子 笹岡 和美
乾 マキ 田辺 真喜
坂本 誠啓 乾 まるみ
清岡 福子 西山ミホコ
山崎 出 五藤 寿史
山本 順子 大野 慎介
乾 正逸 西尾 鈴子
伊吹 溢子 清岡 福長
上治 香野 岩城 勝則
平野 美保 村岡スミ子
田中 吉子 岩城美由姫
井手野長一 甫木 成子
久保 啓二 林 裕子
岡田 元生 伊場 順子
清岡とし子 大野奈留子

小松 静枝 大田 佳名
伊藤 明美 内原 博信
伊藤美千子 清岡 文恵
東谷 恵美 乾 公栄
大野 一幸 清岡 博之
内原小百合 清岡 幸子
清岡 優子 井手野宮子
乾 源規 (敬称略)
また、献血三十回を数えた小島さんと田中さんには日本赤十字社から記念の楯が贈られました。
二日酔いで残念ながら機会を逃した〇〇さん、次は十月二十一日ですのでぜひよろしく。

馬路村の
歴史と
伝説



〈通算第41回〉

馬路の民謡(2)

馬路公民館長 山中 巖

【盆踊り歌】

鈴木主水 もんど

〽ヨォーイ ヨォーイ ヨ
ォーイヤ コリヤ ドウー
ドウー

これから外題にかかられま
しょうぞ さても外題が何
かと問えば 鈴木主水の
大口説 さればこれから
ソレゾよみあげまする

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽花のお江戸のそのかたわら
に さても珍らし心中話
とところは四谷新宿町に 紺
の暖簾に桔梗の紋は 音に
名高い 橋本屋とて

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽数多女郎衆のあるその中で
御職女郎の白糸さんは
年は十九で当世育ち 愛嬌
よければみな人さまが わ

れもわれもと 名指で上が
る

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽わけてお客はどなたと問え
ば 春は花咲く青山へんの
鈴木主水という武士は

女房持ちにて二人の子供
二人子供のあるその中で
今日もあすもの 女郎買い
ばかり

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽見るに見かねた女房のお安
ある日わが夫主水にむか
い これわが夫主水さまよ
わたしや女房で じゃくの
じゃないが

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽三ツに五ツはいたずらさか
り せめてこの子が十にも
なれば 昼夜上げずめなさ
りよとままよ 十九や二十
の身じゃあるまいし 金の

なる木もたしやんすまい
アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽おさない二人の子供が不慥
二人子供とわたしの身を
ば すえはどうする主水さ
まよ やめておくれよ 女
郎買うばかりや

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽いえば主水は腹立て顔で
なんの小癪な女房の意見

親の意見をきかないおれが
女房ぐらいの意見でやま
ぬ 筆筒引出し金取りだし
て までも出てゆく 女郎
買い姿

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

〽あいそずかしの主水さまよ
どうせ切れるの六段目に
は 連れて逃げるか 心中
をするか 二つにひとつの
思案でござる

アリヤキターコリヤキター
ヨーイヤナー

伝承者 故岡田熊一

【座興歌】

よやい

〽大川すりばち 小川の谷は
れんぎ 中の水舟 すりつ
ぶせ

ヨサコイ ヨサコイ

〽わしとお前は お倉の米じ
や いつか世に出て まま
となる

ヨサコイ ヨサコイ

〽おもて来たかよ うらか
ら来たか 私しゅうらから
おもて来た

ヨサコイ ヨサコイ

伝承者 大野 克

【まじない】

灸のあと

〽灸になれ 薬になれ 病の
根を切り 葉をたち枯らせ
灸は天竺のはぎやくし様
アブラウンケン ソワカ

(3回繰り返す)
伝承者 太田高子



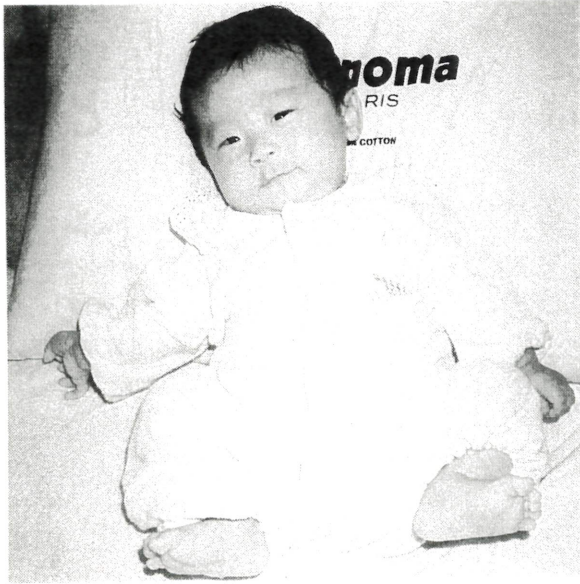
ご出生おめでとございます

赤ちゃん	父	母	続柄	生年月日	部落
島崎 今日子	達也	なぎさ	二女	4・8・4	影
山崎 香苗	利信	一美	長女	4・8・12	魚梁瀬
吉松 大和	正博	ひとみ	長男	4・8・17	日浦
笹岡 志織	昌二	千秋	長女	4・9・12	長女

ごめい福をお祈りします

氏名	性別	年齢	死亡年月日	世帯主	続柄	部落
田中 敬久	男	50歳	4・9・17	敬久	本人	日浦

赤 ち ゃ ん 万 歳



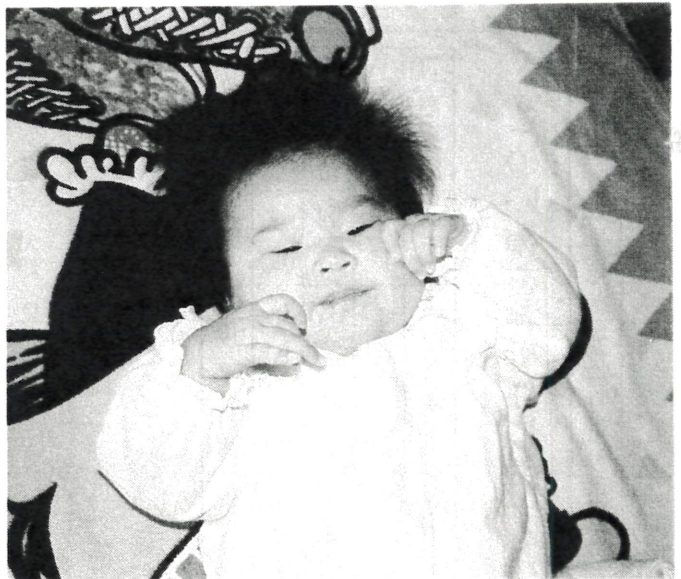
笹岡昇平

平成4年7月8日生

笹岡真吾・日咲子さんご夫妻の長男です

馬路村のみなさん、こんにちは!! ぼく昇平です。ぼくの父ちゃん、母ちゃんは今、下へ仕事にいらっています。その間ぼくは、ひじいちちゃん、ひばあちゃんの住宅へいそろう。父ちゃんと、母ちゃんが仕事から帰って来ると、ぼくは、うれしくて笑い顔がかくせません。今日あった事を全部はなします。(アーアー) 朝日出のじいちゃんとは赤ちゃんも毎日かかさずぼくを見にきます。じいちゃんのに

おいは、父ちゃんといっしょで酒のにおいがします。ばあちゃんのおいは、母ちゃん、ちよっと、ちよっとちがうけどお風呂にいられてくれます。ぼくは、お風呂が大好き。安芸のじいちゃんとは赤ちゃんも、ぼくをとってもかわいがってくれます。こんな家族がぼくは、とっても大好きです。みなさん、ぼくを見かけたら声をかけて下さいね。じゃあね、バイバイ!!



尾谷千佐

平成4年7月20日生

尾谷倫章・佐緒里さんご夫妻の三女です

私、千佐です。ねえねえ、みんな聞いて。私にはお姉ちゃんが二人いるから、みくんな男の子がほしかったんです。でも、私とお母さんのおなかの中にオチンチン忘れてきちゃった。それにしても名前……名前よ、手ぬいてると思わない? 上のお姉ちゃんのミ④、下のお姉ちゃんの④アキをとって④④ですって!! 失礼しちゃうわよね。だからね、ミルク飲む時も必ず一言文句を言ってから飲みはじめ

るの。それから途中でもう一言……。昇おじいちゃんは、「女の子が三つもできて、家もよう建てんが……」ですって。もしかして三人ともお嫁にやらず、御養子さんをもらうつもりかしら……。そうなら馬路運送はバッチ、グーよね。早く大きくなっておじいちゃん、お父さんにお酌してあげたいな。夢いっぱい広がる千佐ちゃんです。